

# 株式会社フィックスターズ

## 2022年9月期 第2四半期決算補足説明資料

2022/5/13

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

**1**

# 2022年9月期 第2四半期 決算説明

- ・ 高速化サービス等のソフトウェア関連が好調

- ・ 補助金計上が下期から一部前倒しされた影響もあり前年同期から大幅な増益

- ・ 売上高 : 3,014百万円 (前年同期比 +9.2%)
- ・ 営業利益 : 868百万円 (前年同期比+86.2%)

- ・ Solution事業は着実に事業を推進

- ・ 高速化サービスを中心に旺盛な需要
- ・ ルネサス社との関係強化：“Automotive SW Platform Lab”を設立
- ・ 人材採用活動は下期に一層の拡大を予定

- ・ SaaS事業では積極的投資、収益化に向けた活動を継続

- ・ GENESISはルネサス社向けサービスに集中  
NEDOからの補助金事業を前倒しで終了し、事業化を推進
- ・ Sider, Fixstars Amplifyは売上成長の加速のため、下期に販促活動の拡大を予定

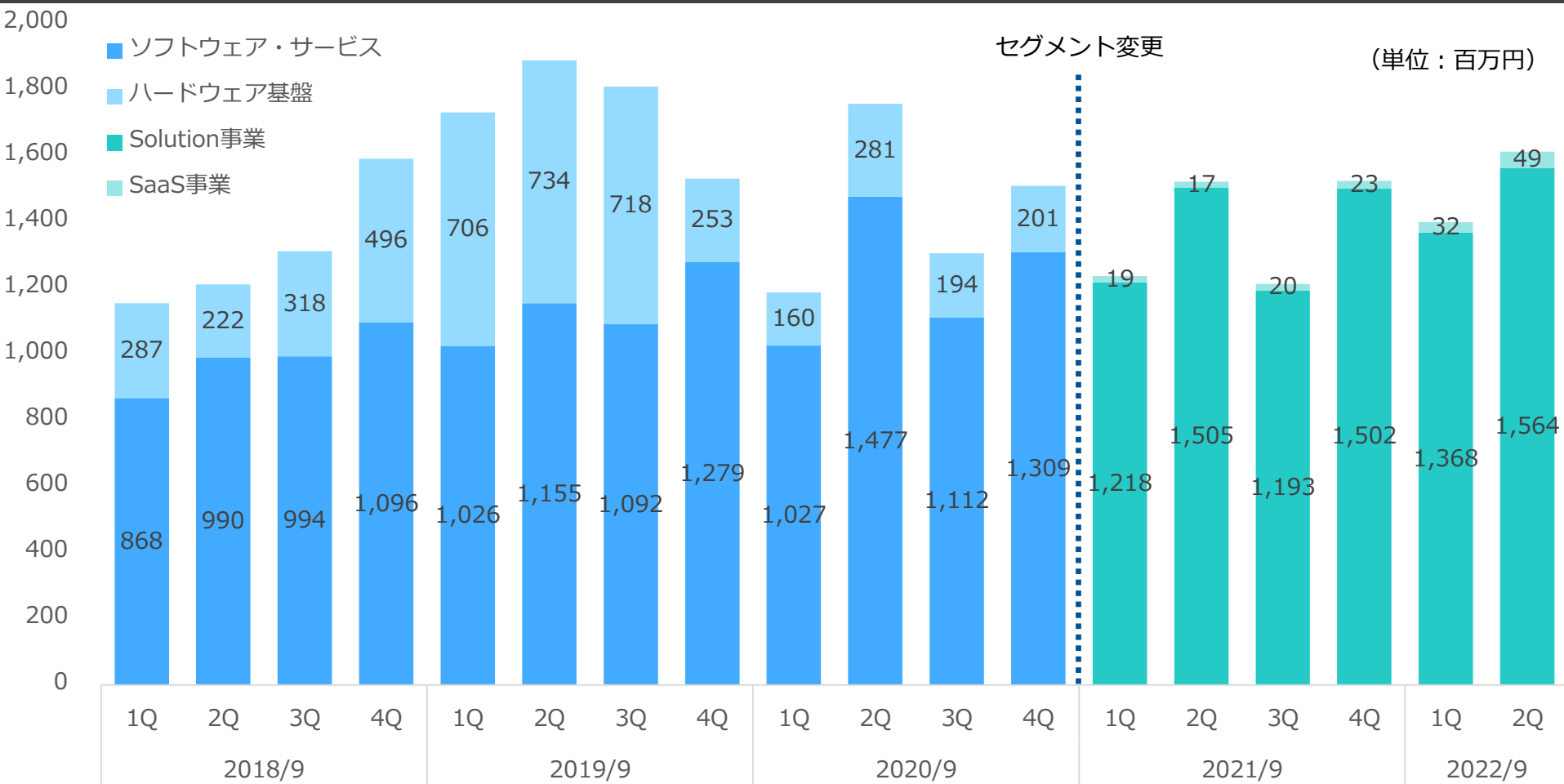
## 連結損益計算書

Solution事業が業績をけん引。GENESIS事業において受領していた補助金事業の早期終了により、下期に見込んでいた補助金の計上が一部前倒しとなった。利益率は大幅に改善も、主にSaaS事業における今後の販促活動拡大等を見据え通期の業績予想は据え置き。

(単位：百万円)	2021年9月期 2Q累計	2022年9月期 2Q累計	2022年9月期2Q累計		
	実績	予算	実績	前年同期比	予算比
売上高	2,761	2,800	3,014	+9.2%	+7.7%
営業利益	466	400	868	+86.2%	+117.1%
売上高営業利益率	16.9%	14.3%	28.8%	+11.9pt	+14.5pt
親会社株主に帰属 する当期純利益	268	230	535	+99.7%	+132.9%
売上高当期純利益率	9.7%	8.2%	17.8%	+8.1pt	+9.6pt

## 売上高

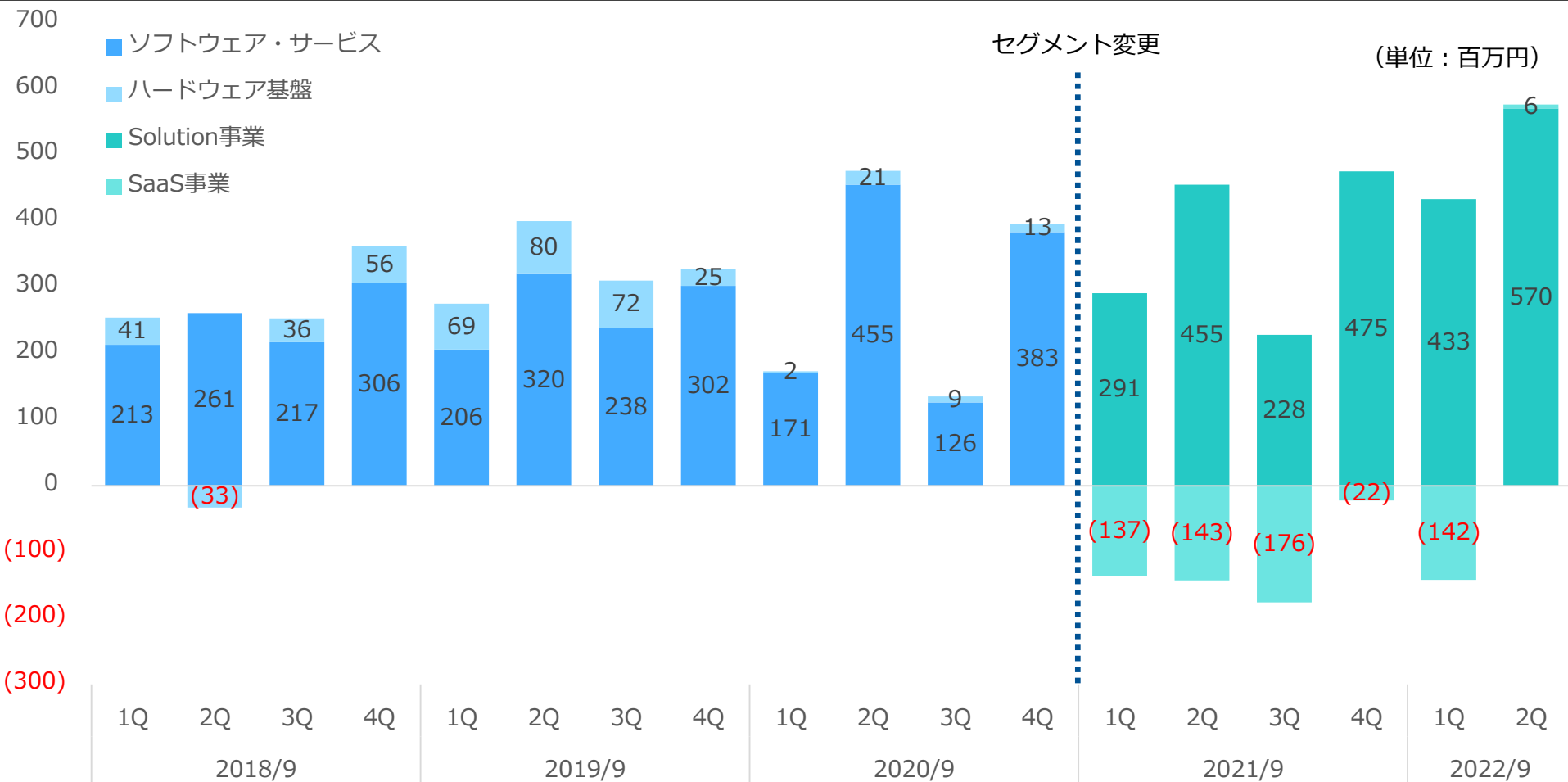
Solution事業の売上が大半を占める状況。SaaS事業については今後の飛躍的成長を目指す。  
新収益認識基準の適用により、四半期毎の変動はある程度平準化される見込み。



## 営業利益

新収益認識基準の適用により、四半期毎の変動はある程度平準化される見込み。

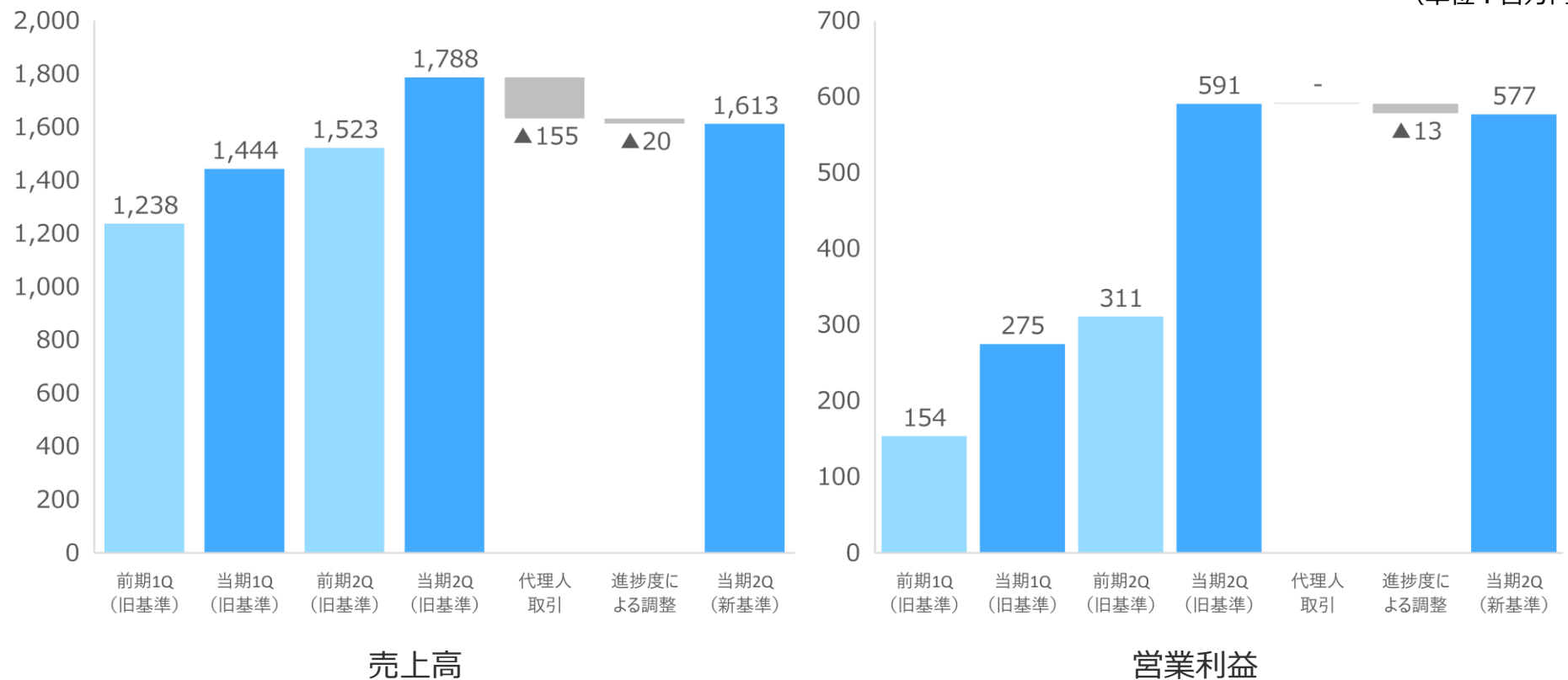
SaaS事業へは前期と同様に積極的な投資を実施。前期4Q・当期2Qの赤字縮小は補助金の計上による一時的なもの。



## 新収益認識基準の適用

ハードウェア販売案件の大半において、代理人取引として収益を総額計上から純額計上へ  
 期末時点で仕掛中のソフトウェア開発・高速化サービス案件の一部において、案件の進捗度に応じて収益を計上

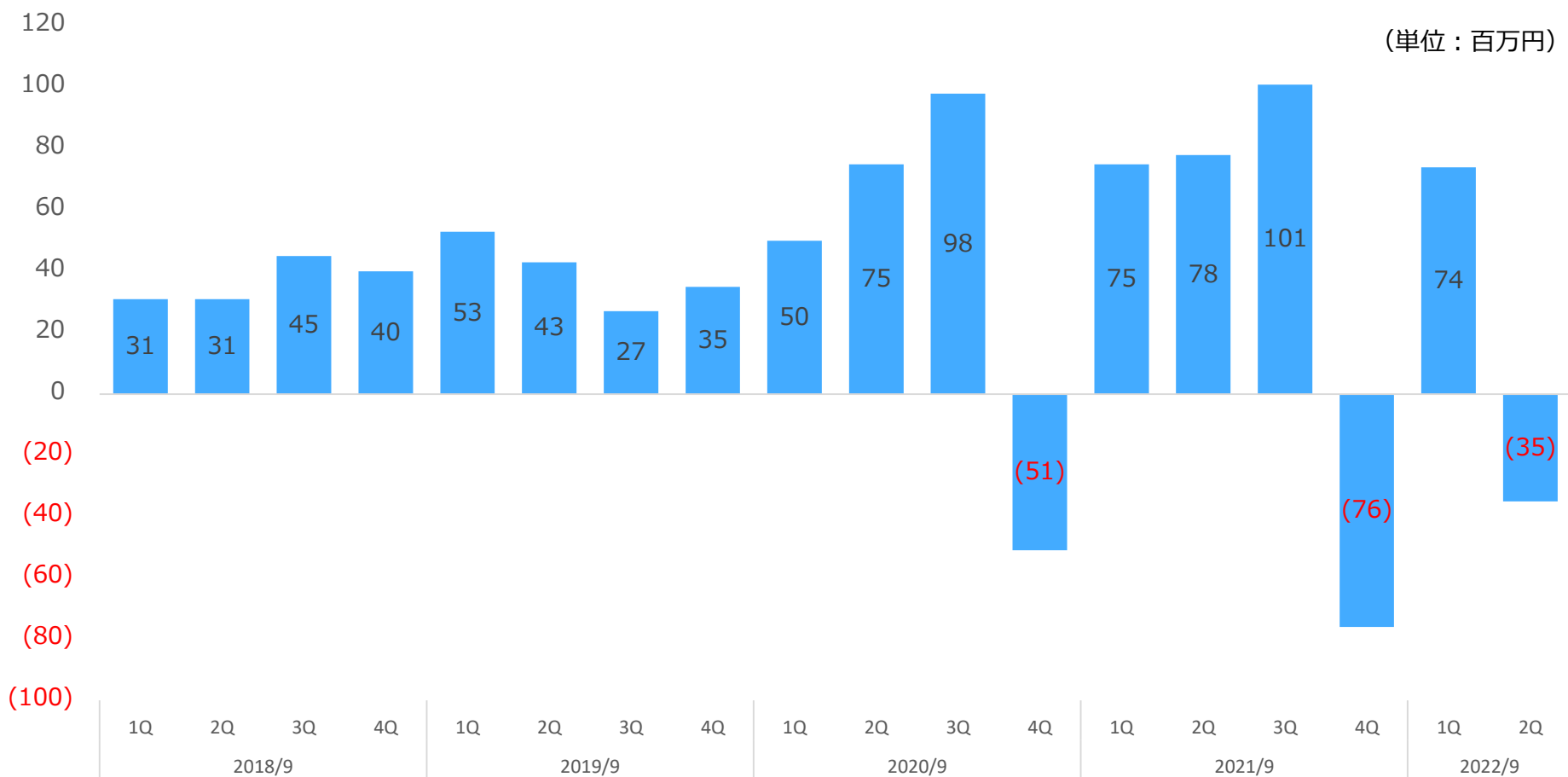
(単位：百万円)





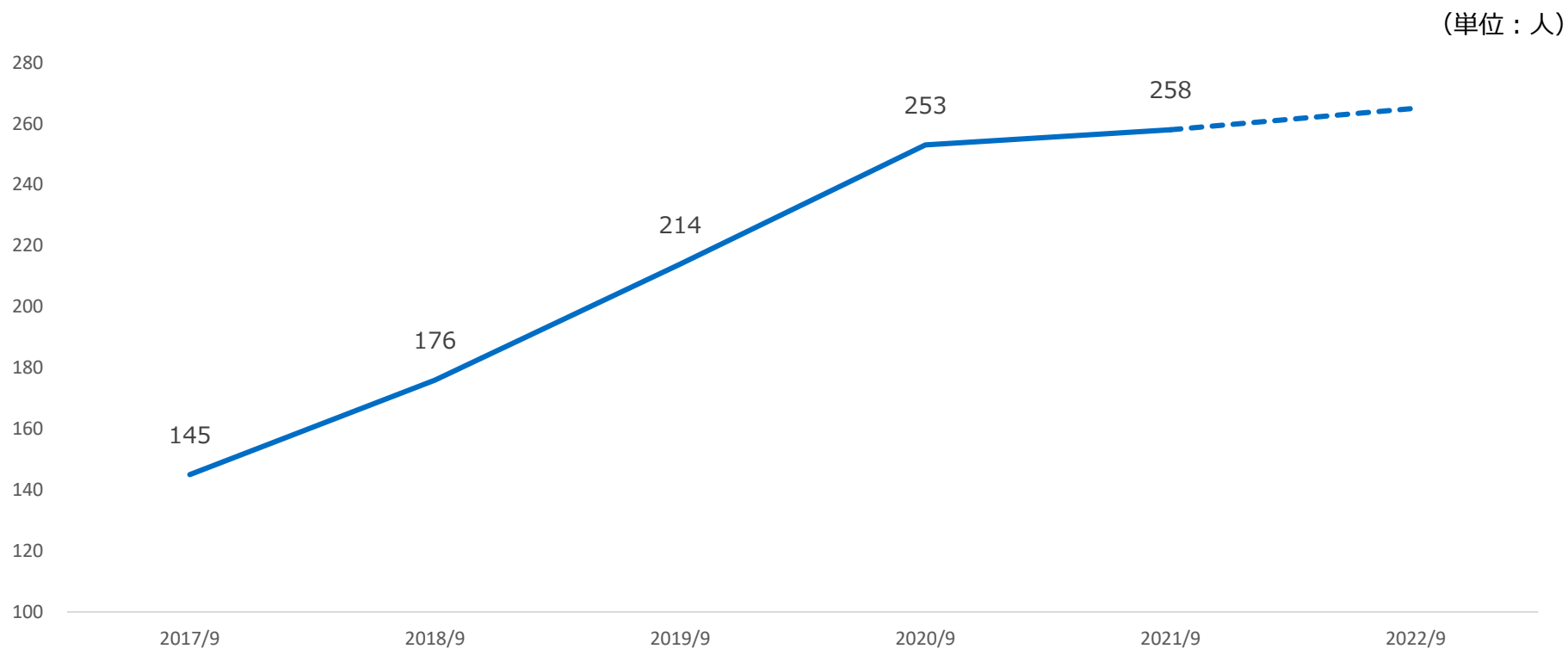
## 研究開発費

新規SaaS事業向けの研究開発を継続。中長期の研究開発活動においてはNEDO等からの補助金を活用し、費用負担の軽減を図る。  
GENESIS関連の補助金早期終了に伴い確定額を計上し、前々期4Q・前期4Qと同様に当期2Qも研究開発費が減少。



## 社員数推移

採用活動に注力し、様々なチャネルを利用した活動を実施中。  
当期において10名程度の純増を図る。



2

## 2022年9月期 通期業績予想

## ・ 主力のソリューション事業の着実な成長、SaaS事業の成長加速

### 新規事業への投資・販促活動、採用活動等による販管費増を見込む

- ・ 売上高 : 6,500百万円 (前期比 +18.1%)
- ・ 営業利益 : 1,100百万円 (前期比 +13.2%)

## ・ Solution事業は全体に堅調な成長を見込む

- ・ モビリティ等を中心とした高速化ソリューションに対する旺盛な需要
- ・ SaaS事業に関連したSolution事業の受注については前期に一定の成果  
GENESIS/Fixstars Amplifyを中心に、より一層の受注拡大を見込む
- ・ 成長のための人材確保に注力

## ・ SaaS事業は売上成長の加速フェーズへ

- ・ ユーザの声を聴きながら各製品の改善を重ねる
- ・ 向上した製品力を背景に、売上の成長加速を狙う
- ・ パートナーとの協業によるサービス展開
- ・ 成長のための事業育成投資・研究開発投資を継続

## 連結損益計算書・配当金

増収・増益を見込むも、Solution事業を中心に採用活動への注力、SaaS事業を中心に販促活動の拡大を予定しており、営業利益率は前期比で低下見込み。  
SaaS事業子会社の損益改善により連結での税負担率が低下し、純利益率は上昇の見込み。配当は連結配当性向30%を目安に実施予定。

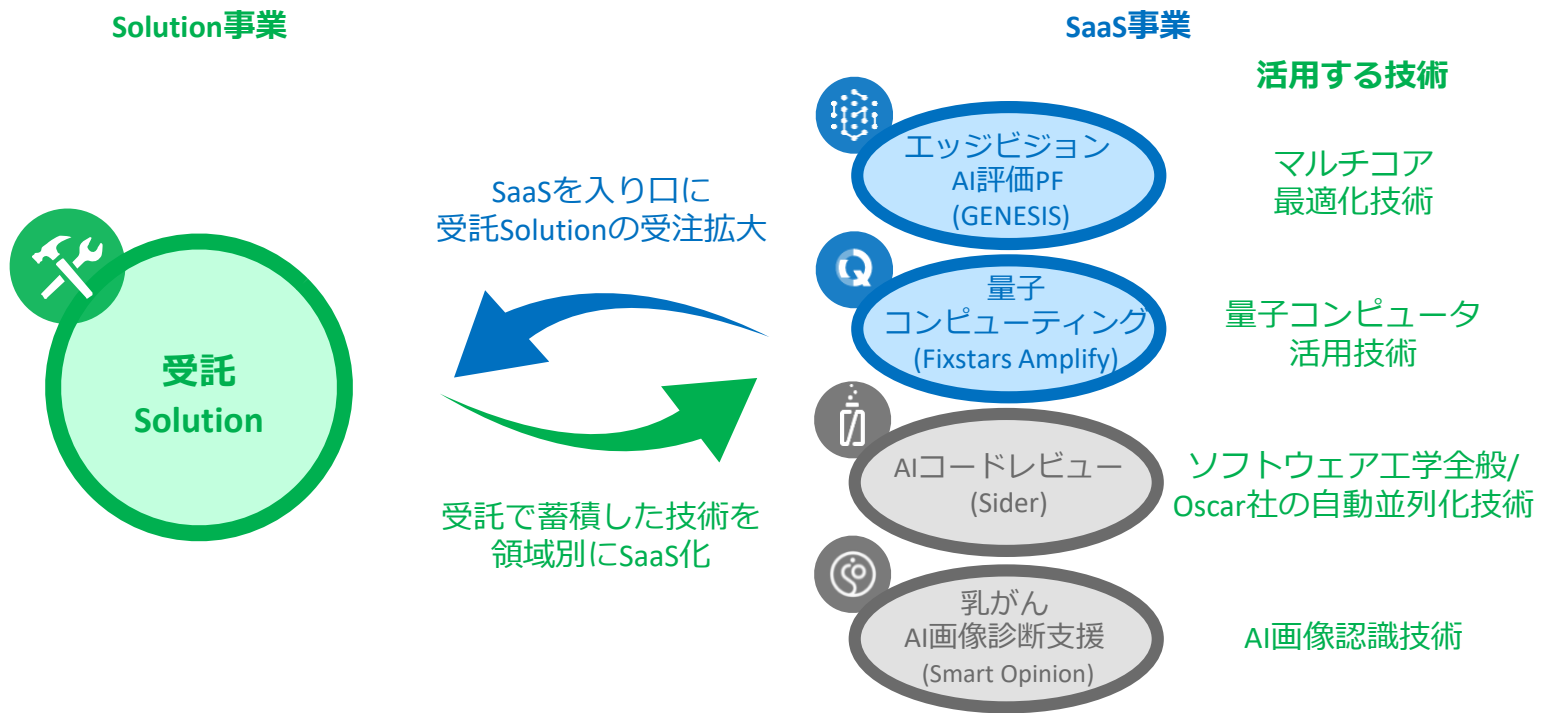
(単位：百万円)	2021年9月期	2022年9月期	
	実績	予想	前期比
売上高	5,501	6,500	+18.1%
営業利益	971	1,100	+13.2%
売上高営業利益率	17.7%	16.9%	▲0.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	543	700	+28.9%
売上高当期純利益率	9.9%	10.8%	+0.9pt
1株当たり当期純利益	16.64円	21.53円	+29.4%
1株当たり配当金	5円	6円	+1円

3

## 補足資料① SaaS事業の状況

## Solution + SaaS のハイブリッド収益モデルへの転換

当社が強みとする技術を領域別のSaaSに展開し、成功の確度を保ち、リスクを低減しつつ成長率の飛躍をねらいます。  
さらに、SaaSを入り口として受託Solutionの受注にもつなげ、SolutionとSaaSのシナジーを構築していきます。



- 高付加価値・高単価の受託による高速化ソリューションの提供（人月モデル）
- 先端技術の蓄積により、成長領域において他社より先に案件を確保。安定的で着実に成長

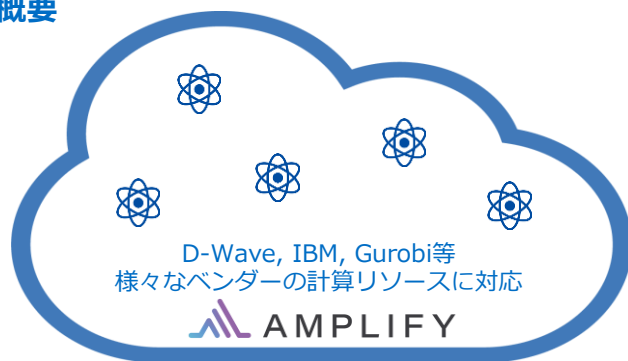
ビジネスモデル  
当社の強み

- Deep Tech SaaSビジネスによるリカーリング売上の拡大（継続課金モデル）
- 受託で培った技術を用い、初期投資とリスクが低減できる領域で展開。飛躍的成長を目指す

## 量子コンピューティング事業

組み合わせ最適化問題の解決のために最適な計算リソースを使用できる、Fixstars Amplify クラウドサービスを展開。  
量子コンピューティング環境のデファクトスタンダードを目指します。

### サービス概要



計算リソースごとの仕様の違いをSDKが吸収

Amplify SDK

計算リソースにとらわれずに汎用性の高い記述が可能

ユーザアプリケーション



金融



物流



製造業

...

### 事業の状況

- ロート製薬社の次世代スマート工場の実現に向けて協業を開始
- 数値最適化ソフトウェアの“Gurobi Optimizer”、ゲート式量子コンピュータの“IBM Quantum”に対応し、計算リソースの選択肢を拡大
- 研究用途での導入も企業・大学を中心に進む

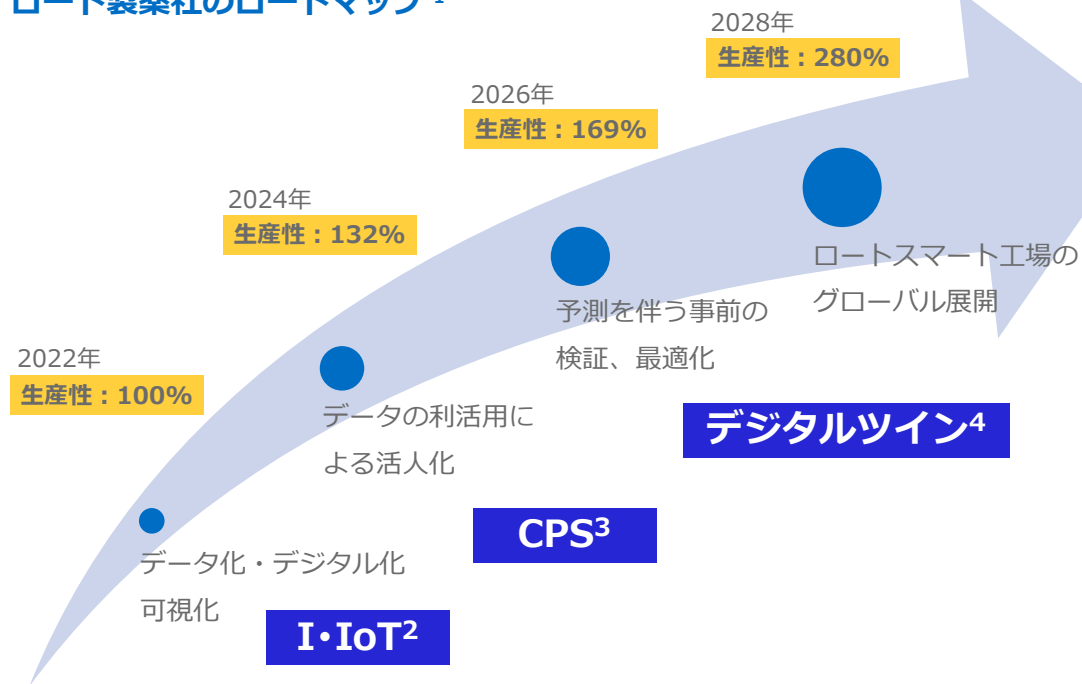
### 今後の施策

- 量子コンピューティングクラウドプラットフォームとしてデファクトスタンダードを目指す
- 組み合わせ最適化問題に特化した分野でSaaSサービスを立ち上げる
- 実運用事例を増やすべく大学や産業界と連携し、実社会問題を1つずつ解決していく



## 事例：ロート製薬社の次世代スマート工場実現に向けた協業

ロート製薬社の次世代スマート工場実現に向けて、Fixstars Amplify (当社子会社) と九州大学の藤澤研究室が共同して取り組みを開始しています。

ロート製薬社のロードマップ<sup>1</sup>

スマート工場における課題を、  
数理最適化の手法を用いて  
定式化して解決

## 九州大学 (藤澤研究室)

- ☑ 数学とコンピュータを活用し、実社会の複雑かつ未解決の問題を解くための研究を推進

## Fixstars Amplify

- ☑ 量子コンピューティングクラウドプラットフォーム Fixstars Amplify を活用し、実社会の問題解決を目指す

Note: 1) ロート製薬社提供資料より掲載許可取得

2) インダストリアルIoT: 製造、輸送、物流などの産業分野を対象としたIoT

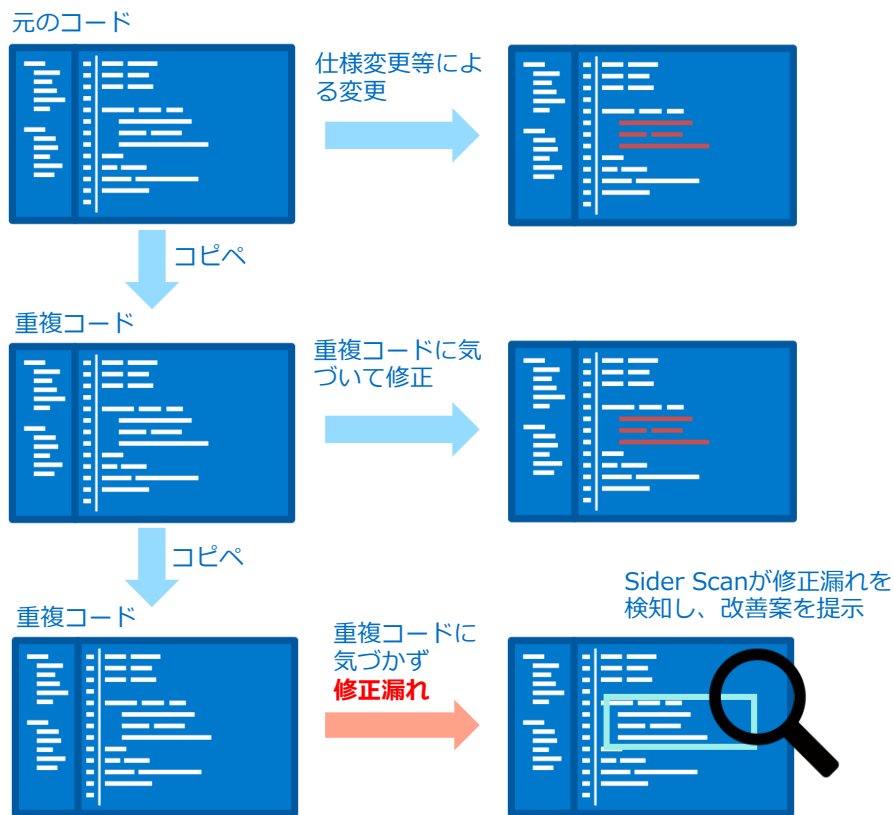
3) Cyber Physical System: サイバー空間とフィジカル空間が緊密に連携するシステム

4) 様々な目的で使用できる物理的資産、プロセス、人、場所、システムおよびデバイスのデジタル複製

## AIコードレビュー “Sider” 事業

ソフトウェア開発において、作成したプログラムのコードを第三者の目でレビューする「コードレビュー」は必要不可欠となりつつあります。本事業では、AIによる自動のコードレビューを提供し、あらゆる開発プロジェクトの品質を劇的に向上させます。

### 新製品「Sider Scan」の概要



### 事業の状況

- 新製品「Sider Scan」のバージョンアップを重ねる  
 バグの温床であるが、既存のツールでは検出できなかった重複コード（コピペの結果生成される類似のコードブロック）に起因するコードの問題を自動検出し改善提案<sup>1</sup>
- フリーミアムモデルへ転換し、無料ユーザを拡大  
 重複コード検出時のメタデータ<sup>2</sup>とユーザフィードバックを大量に収集することで、ソースコード分析エンジンの改良サイクルを加速

### 今後の施策

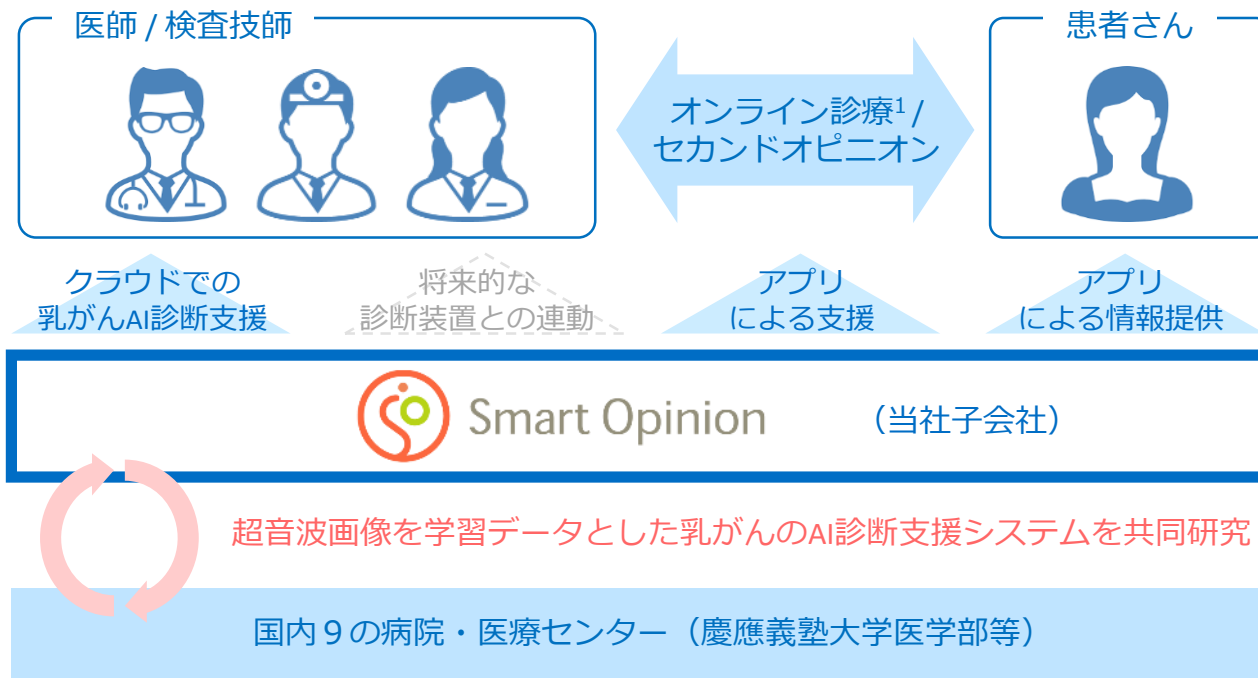
- ソースコード分析エンジンの改良を重ね、コードの問題検出精度を向上
- 積極的なマーケティング活動により製品の知名度向上、ユーザ拡大を狙う
- グローバルにサービスを提供し、世界シェアNo1を目指す

Note: 1) 特許申請中技術 2) ソースコードそのものではなく、分析エンジンでの判断に使用される統計データ等

## 乳がんAI画像診断支援事業

乳がんの超音波画像に対し、AIを用いて精密検査の要否を高速かつ高精度に判別し、医師の負担軽減を目指します。  
乳がんの早期発見を支援し、がん発見後も総合的に患者さんをサポートするサービスを提供していきます。

## サービス概要



## 事業の状況

- AIの開発を進める  
有用性が学会等で高評価
- PMDA承認申請に向けて準備中

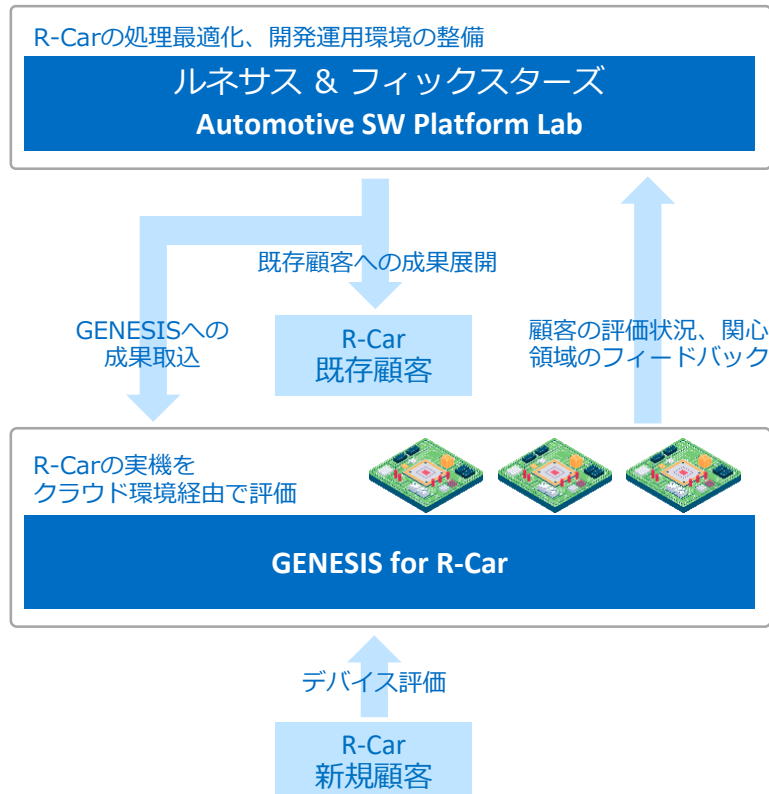
## 今後の施策

- 早期にサービス開始すべく、  
PMDA承認取得に向けた活動を継続
- クラウドでの診断支援サービスで、  
病院側での初期投資のないサービス提供を図る
- 超音波診断装置と連動した  
サービス提供を目指す

## “GENESIS” 事業はルネサス社向けサービスに特化

“GENESIS for R-Car” としてルネサス社の車載向けSoC “R-Car”<sup>1</sup> の評価環境に特化し、Solution事業とのシナジーを強化。同社とのラボにおける活動の成果を取り込み進化を続け、開発者のデバイス評価を加速、R-Carの普及を促進します。

### 概要



### 事業の状況

- ルネサス社向けのサービスに特化
  - 同社と共同で設立したラボの活動成果を取り込み、R-Carの優位性を新規顧客にアピール
  - 主にロングテール層の顧客拡大に繋げる
- 研究開発フェーズの終了に伴い、NEDOからの補助金を早期終了

### 今後の施策

- 開発者が容易にハードウェア評価を行える環境を強化し、ルネサス社の営業活動を効率化
- GENESIS上で評価可能なハードウェア・アプリケーションを増やし、開発者の利便性を向上
- R-Carの成功に貢献し、ルネサス社との強固なパートナーシップを構築

Note: 1) 近年の自動車に組み込まれる、自動運転をはじめとした様々なアプリケーションを動作させるための機能を、1つの半導体チップに実装した製品群

# 4

## 補足資料② フィックスターズについて

## 高速化のエキスパート集団

フィックスターズは、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現する、高速化のエキスパート集団です。

### 概要

会社名	株式会社フィックスターズ
本社所在地	東京都港区芝浦3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 28階
設立	2002年8月
上場区分	東証プライム（証券コード：3687）
代表取締役社長	三木 聡
資本金	5億5,446万円（2021年9月現在）
社員数（連結）	258名（2021年9月現在）
主なお客様	キオクシア株式会社 株式会社ネクスティ エレクトロニクス 株式会社日立製作所 キヤノン株式会社

### グループ体制

#### 株式会社フィックスターズ

#### 株式会社Fixstars Autonomous Technologies

株式会社ネクスティ エレクトロニクスとのJV  
自動運转向けソフトウェア開発に特化

#### Fixstars Solutions, Inc.

100%子会社  
米国での営業及び開発を担当

#### 株式会社Sider

100%子会社  
新規SaaS事業“Sider”を担当

#### 株式会社Smart Opinion

連結子会社  
乳がんAI画像診断支援事業を担当

#### オスカーテクノロジー株式会社

連結子会社  
ソフトウェア自動並列化サービスを提供

#### 株式会社Fixstars Amplify

100%子会社  
量子コンピュータ関連のクラウド事業を担当

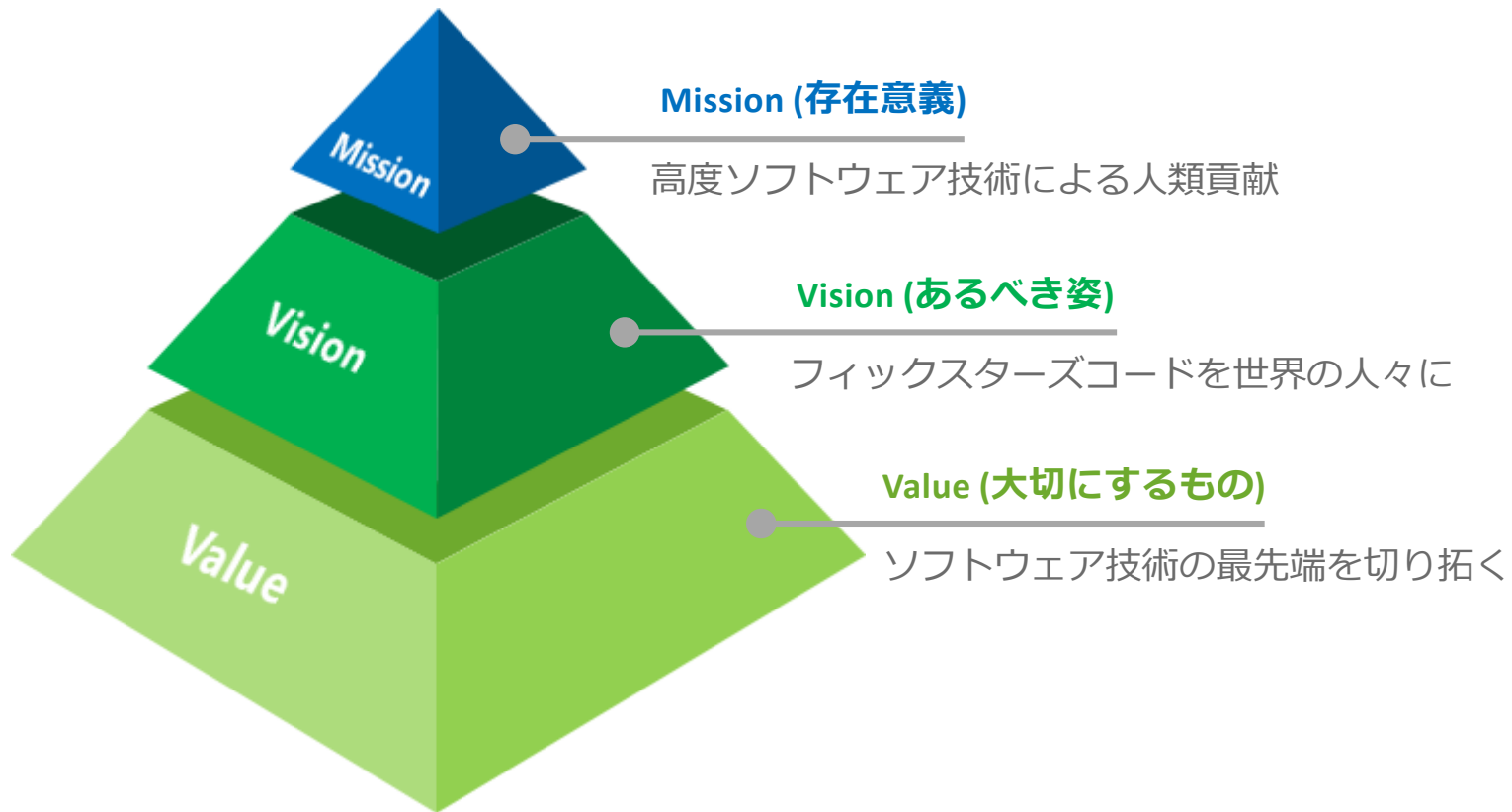
## コンピュータの進歩とともに

ハードウェア技術の進化にいち早く対応し、  
その性能を最大限に引き出すソフトウェア開発・高速化サービスとともに成長してきました。

年月	出来事
2002年 8月	神奈川県横浜市に有限会社フィックスターズ設立、その後株式会社に組織変更
2004年 7月	マルチコア技術開発部設立、Cell/B.E.ソフトウェア開発サービス開始
2006年 12月	PlayStation®3の発売を受け、「PS3® Information Site」を立ち上げ
2009年 12月	「OpenCL入門ーマルチコアCPU/GPUのための並列プログラミング」を出版
2010年 11月	米国空軍研究所に、PlayStation®3を用いた高速クラスタシステムを導入
2012年 1月	NANDフラッシュメモリ関連ソフトウェア開発サービス開始
2014年 4月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
2016年 11月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2017年 6月	量子コンピュータを手掛けるD-Wave社との協業を開始
2018年 2月	自動運転分野のさらなる拡大を目指し、ネクスティ エレクトロニクス社と合併会社Fixstars Autonomous Technologiesを設立
2020年 3月	自動並列化技術に強みを持つオスカーテクノロジー株式会社の株式を取得、連結子会社化
2021年 10月	量子コンピューティング領域のさらなるサービス事業拡大を目指し、株式会社Fixstars Amplifyを設立
2022年 4月	東京証券取引所の市場再編に伴い、東京証券取引所プライム市場に市場変更

## コンピュータの恩恵を人々に

コンピュータの性能を最大限に引き出す高速化技術を軸に、ESGをはじめとする人類社会の課題解決に貢献しています。





## 高速化技術による環境負荷低減

当社は、多様な産業分野に対する高速化ソリューションにより電力消費を大幅に抑え、環境負荷低減に貢献しています。

### 多様な産業分野における高速化ソリューション

#### Semiconductor

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発
- ・ 次世代AIチップ向け開発環境基盤の開発

#### Mobility<sup>1</sup>

- ・ 自動運転の高性能化、実用化
- ・ 次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

#### Life Science

- ・ ゲノム解析の高速化
- ・ 医用画像処理の高速化

#### Finance

- ・ デリバティブシステムの高速度化
- ・ HFT(アルゴリズムトレード)の高速度化

#### Industrial

- ・ Smart Factory化支援
- ・ マシンビジョンシステムの高速度化

数倍～数百倍の高速化による  
電力消費時間の短縮



Note: 1) 一例として、自動運転向け画像認識処理の高速化 (1車種) のみでも、2020年に約14,000トンのCO2削減が見込まれる (当社推計)

## 高速化に限らない様々な社会貢献

高速化ソリューションによる消費電力削減に加え、自動運転や医療等の様々な分野への支援により、環境や社会の課題解決に貢献しています。

## 当社事業領域

## 社会的価値



自動運転の高性能化、実用化  
次世代パーソナルモビリティの研究開発支援

交通事故の根絶  
交通弱者へのサポート



AIによる画像診断支援

より気軽でより質の高い  
診断・治療へのアクセス



量子コンピューティングによる生産性の向上、労働の効率化

カーボンニュートラルへの貢献

## ソフトウェア高速化サービス

当社事業の根幹をなすソフトウェア高速化サービスにおいては、ソフトウェアの最適化やアルゴリズム改良等によりコンピュータの性能を最大限に引き出すことで、大量データの高速処理を実現しています。



当社

オリジナルソースコードのご提供

高速化したソースコード



お客様



コンサルティング



高速化



サポート

- 性能評価
- アルゴリズムの改良・開発
- レポートやコードへのQ&A
- ボトルネックの特定
- ハードウェアへの最適化
- 実製品への組込み支援
- レポート作成

